

守ろう交通ルール 防ごう交通事故



私たちが生活していく上で、誰にでも起こり得る交通事故。一瞬で、あなたや周りの方の人生を大きく変えてしまう可能性があります。交通事故を起こさないため、巻き込まれないために、私たちが気を付けるべきことについて、今一度確認してみましょう。

問 環境課 (内線254)



多治見警察署交通第一課長
土屋公彦さん

思いやり運転を心掛ける
ドライバーが事故を起こさないために、制限速度の順守、交差点での一時停止・安全確認などといった交通ルールを守ることはもちろんですが、基本的な心構えとして、思いやり運転を常に心掛けていただきたいと思っています。

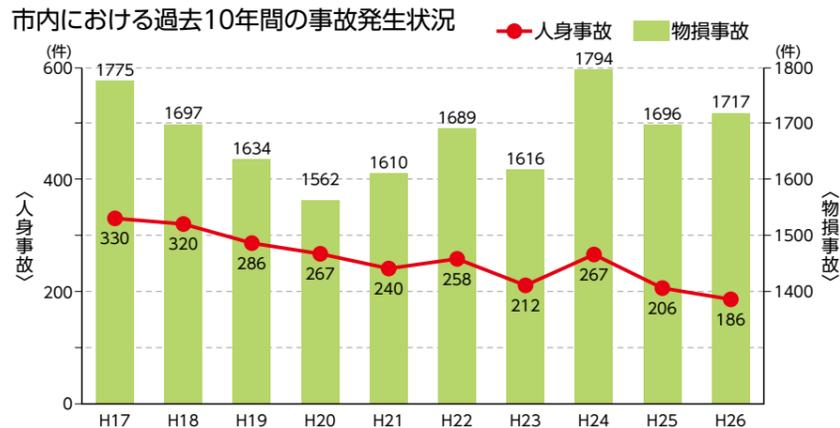
土岐市内は地形上、道路幅の狭い道も多く、歩行者に対して一層の注意を要する箇所も存在します。高齢者や子どもに対しては特に注意を払い、心に余裕を持ってハンドルを握っていただければと思います。

夜間の外出には要注意を

交通死亡事故のうち、高齢歩行者が夜間に被害に遭われるケースが多く発生しています。外出を伴う用事は、できる限り昼間のうちに済ませましょう。やむを得ず外出する場合は、夜光反射材を着用するなど目立ちやすくする工夫をしてください。これからの時期、日没の時間もだんだんと早まってきますので、運転者、歩行者共に一層の注意をお願いします。

市内の交通事故の発生状況

平成26年中は、人身事故件数が186件(死者数0人)と前年と比較して減少しており、過去10年で比較しても最も発生件数の少ない年でした。しかし、物損事故の件数は、平成20年以降増加傾向にあり、このことが人身事故の増加へとつながる可能性も十分あるため、より一層の注意が必要です。



正しい交通ルールを身に付けましょう

■交差点では最大限の注意を

車両は、交差点に入ろうとする場合、および交差点を通行するときは、交差点を通行する車両、反対方向から来る右折車両、横断歩行者に特に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければなりません。

相手との優先関係の有無に関わらず、交差点を通行する全ての車両は安全進行の義務があります。「私の方が優先だから相手が止まるだろう」といった優先関係を重視した運転は、重大な事故を引き起こす可能性が高くなるので注意しましょう。

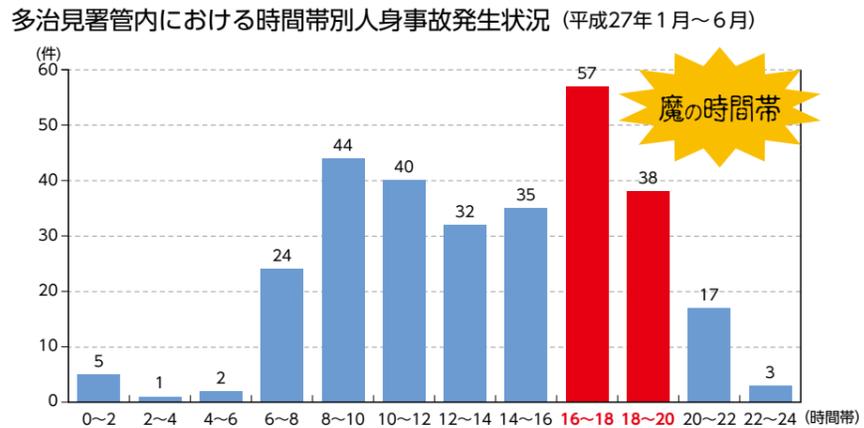
■「黄色」は原則止まれ

信号機が黄色に灯火したら、車両は停止位置を越えて進行してはいけません。ただし、停止位置に近く安全に停止することができない場合はそのまま進むことができます。間違っても「注意して進め」という意味ではありません。



事故の起きやすい時間帯

午後4時から8時にかけては人身事故の発生件数が多く、「魔の時間帯」と呼ばれています。これから日の入り時間が早くなるにつれ、この時間帯での事故が増加していきます。自動車や自転車運転する方は早めのライトの点灯を、歩行者は夜光反射材の着用を心掛け、交通事故の防止に努めましょう。



自転車の利用について

■自転車は車の仲間

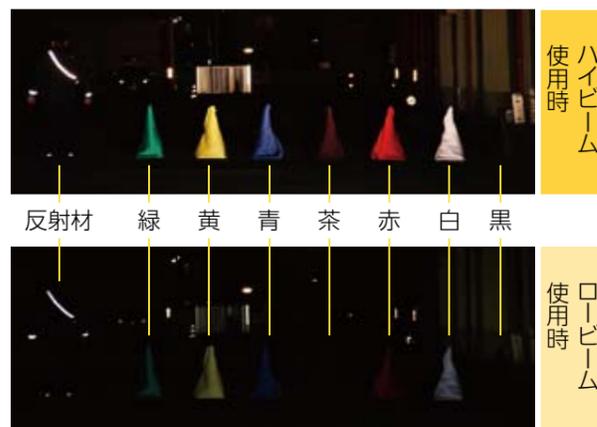
自転車(軽車両)利用時にはさまざまな交通ルールがあります。正しく理解し、事故防止に努めましょう。

～自転車安全利用五則～

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る (飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号順守と一時停止・安全確認など)
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

運転者は歩行者の早期発見を、歩行者は見えやすい工夫を

左の写真は夜間、車がハイビーム(遠目)とロービーム(近目)を使用した場合の運転席からの見え方を比較したものです。ハイビーム使用の方が明らかに見えやすいことに加え、夜光反射材はもとより、白色や黄色などの明るい色が見えやすいことが分かります。運転者は対向車などの存在に注意しながら、ハイビーム・ロービームの小さな切り替えにより、歩行者の早期発見に努めましょう。また、歩行者は明るい色の服装を選び、夜光反射材を着用して自分の存在を運転者に知らせましょう。



■重大事故の加害者になる可能性も過去、自転車の利用者が加害者となり、高額な損害賠償を請求された事例もあります。

事例

男子生徒(11歳)が夜間、帰宅途中に自転車で行中、歩道と車道の区別のない道路において、歩行中の女性(62歳)と正面衝突。女性は頭蓋骨折などの重傷を負い、意識が戻らない状態となった。(神戸地方裁判所 平成25年7月4日判決)



損害賠償請求額
9,521万円

秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～30日(水)

地域ぐるみで守ろう
お年寄り子ども

運動の基本

▷子どもと高齢者の交通事故防止

運動の重点

- ▷夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止 (特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- ▷全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ▷飲酒運転の根絶

9月30日は
交通事故死ゼロを目指す日